

卷之二

卷之三

此和四十年慶

館長

卷之二

1

「文種の社會問題」  
進歩党として、その完成に努めました。この間、  
一時代に合ひた地の考え方、荒れつある人々  
間の關係の回復を推進したことです。

一すべつの原動力である、健康的保持のため  
の人の心を整和して、再びハーモーンの運営を

一、一部の人民がいかにも多くいのべる 国際化の  
用）本と成る問題をもつてゐるが、これは  
政治的観念の問題を 因つたておむねである。

◆ 踏40年曆 行事記 ◆

昭和10年度 公民館手帳

○ 市子算配分額	75.010.-
○ 公民館運営費	53.040.-
○ 自若会より	15.000.-
○ 合 計	143.050.-
△ 支出の部	
○ 本 部	23.050.-
○ 教 員	23.000.-
○ 図 書	25.000.-
○ 体 様	60.000.-
○ 楠 助	12.000.-
○ 合 計	143.050.-

「うるさいやつだな。」  
「うるさいやつだな。」

奥の防犯に力を  
由喜庭在原 桂信雄

雜・感  
由見城人公良

一、本邦の政治的・社会的・経済的問題

此後多聞其事。而未嘗見之。故不知其人也。

近頃は各家庭共電化製品等も漸つて以前の生活に比べると随分多く余裕があります。

4 異國運動です。

○七日以來之過所以忘乎  
○未矣

よひか  
以上の方は説明で 川端  
や中井の お友達がどこだ  
か その推測を始めます

公私兼ねてしまつたのと並んで、新生活への一歩を踏み出しました。

帝之子也。故曰天子之子也。此皆長君也。

よのかげ漫録

行 事 計 策 ◇

○新著『漫遊記』  
○講演公演會文化案式  
○公演會之發行  
○圖書研究會  
○四月三十日後時至亞洲  
○十二月三日完成於巴黎  
○英國文庫之利用

「よひかけ、て明るい町の よい子ども

あれは、今日初めてお目にかかるが、おお、  
かわいい、大きめの猿だな。たとえおもちゃ  
であっても、年々、タケの方が大きくなる  
やうだね。おまけに猿人形みたいだ。  
シルクは、  
お猿人の顔をじっと見つめながら、  
「うーん、この猿人形、なかなかいいやつだ。  
おまけに、おまかせした自分の仕事の仕方  
が、お猿人の顔に現れてる気がして、  
お猿人の顔が、まるで、おまかせ環境があつて  
いるみたいだ。まあ、お猿人  
が、おまかせして、おまかせの仕事をする事で、  
おまかせの仕事が、まるで、おまかせ環境があつて  
いるみたいだ。